

図書館 だより

令和元年(2019年)夏 No. 342

- 令和元年度 被爆体験継承事業 企画展
「ヒロシマの記憶を伝える ～町と人々の暮らし～」・1面
- 歴史を探り、魅力を発信！
「ウィキペディアタウン in 広島（若者編）」・・・2面
- 図書館は、地域のみなさんと共に歩んでいます・・・3面
あさ閲覧室は、5月に20周年を迎えました
西区図書館は、10月に30周年を迎えます
- 図書館司書がおすすめするこの1冊！・・・・・・・・・・4面
- 休館日のお知らせ 7月～9月・・・・・・・・・・4面

令和元年度 被爆体験継承事業 企画展

ヒロシマの記憶を伝える ～町と人々の暮らし～



【広島県東部の広島県工業博覧会館（原爆ドーム）（昭和13年）
（資料提供：広島県立中央図書館）

開催期間 令和元年7月6日(土)～9月1日(日)

会場 広島市立中央図書館 2階 展示ホール

企画展の内容

- ・当時の町並みを伝える手記や証言集
- ・昭和初期の広島中心街の様子を撮影した貴重な写真、記憶をもとに戦前の広島を鉛筆で描いたスケッチ画集
- ・広島平和記念資料館（中区中島町）の地下に眠る戦前の暮らしを伝える被爆遺構の調査報告 など

広島市立図書館では、原爆の実相を伝え、被爆体験の継承と平和意識の向上を図るため、原爆・平和に関する資料の収集・保存・活用を行っています。

その一環として中央図書館では、毎年、被爆体験継承事業を行っており、今年度は「被爆前後の町と人々の暮らし」に焦点をあて、企画展と関連イベントを開催します。

企画展では、戦前の町の存在や人々の日常の暮らしを身近なものとして実感できるように、図書館所蔵資料や写真パネルなどでご紹介します。



企画展の様子

7月21日（日）には、関連イベント「ヒロシマの記憶を伝えること」を開催しました。

東京大学大学院教授の渡邊英徳氏は、被爆者の体験等の資料をインターネット上で共有する「ヒロシマ・アーカイブ」について説明し、詩人のアーサー・ピナード氏は、紙芝居『ちっちゃいこえ』（童心社 2019年）が生まれた経緯を紹介するとともに、同作品の実演も行いました。また、高校生の庭田杏珠さんは、AI（人工知能）技術を用いて広島の白黒写真をカラー化するプロジェクト「記憶の解凍」について、自ら中心メンバーとして取り組んだ事例を発表しました。

その後の対談では、これらの取組は表現手法こそ異なるものの、資料や作品等の公開により「平和」や「原爆」に関心を持たない人に対して目に触れる機会や考えるきっかけを創出し、「伝える」という目標にまい進しているとの共通認識が示されるなど、熱気あふれるイベントとなりました。

今夏、被爆前の町や人々の暮らしにふれ、それを一瞬で奪い去った原爆の恐ろしさ、戦争の悲惨さを知ること、あらためて平和への思いを共有し、ヒロシマの記憶を次世代に「伝え続けること」の大切さを考えてみませんか。

歴史を探り、魅力を発信！ウィキペディアタウン in 広島（若者編）

平成 31 年（2019 年）3 月 17 日（日）、中央図書館で「ウィキペディアタウン in 広島（若者編）」を開催しました。

このイベントは、地域の文化財や名所などについて調べ、その情報をインターネット上の無料の百科事典「ウィキペディア」に掲載し、発信するというもので広島市では初の取組です。

イベントには、高校生や大学生 26 名の参加がありました。当日は、「オープンデータ京都実践会」や『『ひろしま地歴ウォーク』編集委員会』のメンバーの指導のもと、午前中は、2 時間の「まち歩き」で広島城や平和記念公園周辺の歴史や地理について学び、午後は、グループに分かれて記事の作成に取りかかりました。まち歩きの際にガイドから聞き取った内容や撮影した写真を持ち寄り、また、図書館の資料を確認するなど、和気あいあいと話し合い、時には議論を戦わせながら同年代の若者たちが共同で作業を進め、「勝鯉の森」、「雁木（広島市）」などの 4 項目を新規登録、修正しました。

そして、図書館が所蔵する資料・情報の活用や、司書によるレファレンス（調査）を通して、郷土に関わる資料に親しみながら、身近な広島の歴史や特色を学び、調べることの楽しさを味わうとともに、まちの魅力を再発見することができました。

参加者の感想では、

- ・あらたに広島のことを知ることができてよかった
- ・春から大学に進学するにあたり、専攻している勉強の役に立つ内容だった
- ・色々な学校の人と、交流しながら作業をする楽しさを感じた
- ・ウィキペディアを自分の手で編集し、世界へ発信できたことが嬉しかった

などの声をいただくなど、満足度が高く、充実した時間となったことがうかがえました。

これを機会に、図書館の資料などを存分に活用しながら、今後も広島について自ら調べ、その魅力を広く発信していただくことを期待しています。

今年度も「ウィキペディアタウン」を開催予定です。ぜひ参加して、体験してみませんか？



まち歩きの様子



図書・資料を使って調査している様子



調査項目を登録・編集している様子

図書館は、地域のみなさんと共に歩んでいます

市内には、11館2室の市立図書館があります。どの図書館も地域のみなさんが集い、多くの方々に活用していただいています。今号では、今年、開館してから記念の年を迎える2つの図書館をご紹介します。みなさんと共に歩んできた図書館を、今後も引き続きご利用ください。

● あさ閲覧室は、5月に20周年を迎えました

まんが図書館あさ閲覧室は、平成11年（1999年）5月1日、まんが図書館の分室として、上安バスターミナル3階（ベルテガーデンA棟2階）に開館しました。

開館当初3万冊だった蔵書も、現在は約5万7千冊となりました。



余裕のあった棚も、いまでは漫画でいっぱい



開館セレモニーの様子

あさ閲覧室の蔵書の特色としては、さまざまなジャンルの学習・教養漫画を収集していることで、気軽に知識を得られる場所となっています。

また、漫画の楽しさを伝えるため、「イラスト漫画講座」、「パラパラアニメ教室」、漫画を譲渡する「くまんが」本のリサイクルフェアなどのイベントを開催しています。

今後も、あさ閲覧室は、資料の提供や行事の開催等を通して、漫画文化の発展の一翼を担ってまいります。

● 西区図書館は、10月に30周年を迎えます

西区図書館は、平成元年（1989年）10月28日に開館し、今年30周年を迎えます。

JR横川駅南口から徒歩5分、バスや電車のアクセスも便利な西区図書館は、これまで多くの皆様にご利用いただきました。今後も引き続き、身近な図書館として利用者のみなさんの期待に応えようと、30周年を迎える10月には、いろいろな行事を予定しています。

西区図書館が開館した平成元年は、どんな年だったのでしょか？世の中はバブル真っ只中のこの年、どのような出来事があり、どのような本が多く読まれていたのかを振り返る展示を行う予定です。また、特色ある事業として、健康づくり関連講座「笑いヨガ」や、ストーリーテリングの講座、おはなし会など、楽しい行事を開催します。

さらには、日頃から来館して下さっているみなさんに、便利な図書館グッズのプレゼントなども用意する予定です。ぜひご来館ください。

今後も、みなさんの生活に密着した図書館、また憩いのスペースとなるよう取り組んでまいります。



オープニングの様子



開館当時のチラシ

図書館司書がおすすめるこの1冊！～広島歴史を探る～

児童書

『ヒロシマをのこす』

佐藤 真澄／著
汐文社 2018年



昭和30年（1955年）に開館した広島平和記念資料館は、被爆資料の展示などによって原爆の被害を世界に伝えています。この資料館の誕生には、初代館長の長岡省吾が大きく関わっています。

地質学者であった長岡は、広島市に原爆が投下された翌日から市内を歩き回り、被爆の痕跡が残る石や瓦を集めて調査を行いました。その後、被爆者の遺品や被爆当時の写真などの収集も始めます。これらをもとに被爆資料の公開展示が始まり、広島平和記念資料館の開館へとつながっていきました。

原爆の恐ろしさを多くの人に伝えるために尽力した長岡省吾の半生と、資料館の歩みを知ることでできる一冊です。

一般書

『祖父とあゆむヒロシマ
今は言える、自由に。』

愛葉 由依／著
風媒社 2019年



本書は、祖父と大学生の孫、その母の親子三代でのヒロシマを巡る旅のドキュメンタリーです。

著者は大学の課題レポートとして、祖父の体験を書こうと思立ちます。

名古屋で生まれ育った祖父は、昭和20年（1945年）に徴兵され、広島県大竹市の海兵団へ配属されます。その後、水兵から衛生兵へ転科し、救急救命と衛生管理を担っていました。

8月6日の原爆投下の翌日、広島市内で救護活動、遺体処理を行い、この時に被爆します。終戦後、名古屋へ帰り家業を継ぎますが、家族にも広島での詳しい話はしていませんでした。

70年間、語ることのなかった戦争体験。その祖父の記憶をたどるライフヒストリーでもあります。

休館日のお知らせ 7月～9月

7月

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

8月

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

9月

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30					

>>>> 特別整理期間による臨時休館のお知らせ

□ 休館日

- ※ 佐伯区図書館 6月27日（木）～ 7月 3日（水）
- ※ まんが図書館 7月 4日（木）～ 7月10日（水）
- ※ こども図書館 9月 7日（土）～ 9月13日（金）
- ※ 安佐南区図書館 9月27日（金）～ 10月 3日（木）

編集・発行

Hiroshima City Central Library
広島市立中央図書館
(公益財団法人 広島市文化財団)
〒730-0011 広島市中区基町3番1号
<http://www.library.city.hiroshima.jp/>

代 表 082(222)5542
本の問い合わせ・相談専用 082(222)6440
F A X 082(222)5545
(携帯電話 <http://www.library.city.hiroshima.jp/m/>)
(スマートフォン <http://www.library.city.hiroshima.jp/sp/>)